

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		通園（デイサービス）事業おれんじくらぶ 放課後等デイサービス				公表日	令和 7年 2月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		前年とは状況は変わらない。スペースの確保と人数に配慮して実施している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			職員の規定人数は満たしており施設のスペース的には今の配置数でよいと思われるが、より丁寧な療育を実施するためには、増員したい。また、男性職員の登用が期待される。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2		パーティション等を活用しながら個々の特性に配慮した方法を考えていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	2	玩具は使用后、次亜塩素酸水・オゾン除菌ボックスなどで消毒をし、こまめに掃除をして清潔を保っている。	活動に合わせた空間の設定を心がけているものの、ワンルームの中での調整の為、子どもたちにとって不十分なこともある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	2	パーティション等を活用しながら療育室やクールダウンの出来る部屋を作成し個々に配慮した環境を整えられるよう工夫している。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		ミーティングの他に、振り返りやケース会議を行い、支援の向上を意識したうえで業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		3		保護者の意見をその都度伺いながら業務改善に取り入れている。保護者向け評価表により職員で協議し改善につなげていきたいと思ひます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	現在第三者評価は受けていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		外部研修の参加に加え、内部研修オンライン研修に出来るだけ参加し、資質の向上に努めています。		
適切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		子どものニーズを大切にすることを意識している。発達段階や個々の状況を把握し、課題について、しっかりと保護者と確認し合い ニーズの分析をおこなった上で立案しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を職員で検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	発達検査等、外部の関係機関からも情報を伝えながらアセスメントに活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		3	定期的にあセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。職員から意見を聞く事で、活動内容や子どもを色々な角度から確認出来る為、振り返りを欠かさないようにしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		3	集団活動では、リーダーがメインとなり、職員全員で相談して実施している。個別の活動でも、主に対応職員が行うがチームで考える為に互いに相談し合っ実施できるよう努めている。		

坂の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		子どもたちが楽しく色々な体験ができるように考え、リトミック・工作・季節を感じること・感触遊び等を工夫しながら取り入れています。子どもの反応を見ながら随時内容を工夫しています。	成長・課題に合わせた活動を計画していく。課外活動なども取り入れ、色々な経験ができるように支援していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		個々の状況を見ながら、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立てるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		集団療育では、打ち合わせは欠かせないようにしています。支援内容、役割分担、安全性、などについて子どもの動きを想定し情報共有をしています。注意すべき事項は、綿密に打ち合わせしています。	個別支援に関して、その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員全員が把握できるように努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援で成功した点や工夫が必要な点などを職員間で出し合い、次回の支援につなげていけるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		保護者に確認していただいても、支援の方法が伝わりやすい記録を心がけている。児童発達支援管理責任者がチェックをして気付いたことを担当職員に返しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		6か月に1回、又は必要に応じてモニタリングを実施し見直しをおこなっています。保護者に対してはできるだけ面談を実施し学校や他事業所での様子を共有しながら、利用者の全体像把握に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		日々の支援プログラムに加え、子どもたちのやりたいことを聞きそれに合わせた活動や課題を取り入れています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		町内の事業所間（放デイ、相談）では、定期的に連絡会を実施しており、参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		小学校での支援会議に参加し情報共有をおこなっています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		児童発達支援を利用していた子どもがそのまま、同事業所の放課後等デイサービスを利用するケースが多い為就学前に情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3			必要に応じ、移行先への情報共有等に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3			つながりのある専門機関とは、研修の依頼や相談などを継続し、緊急の際にもアドバイスいただけるような関係性を持っていたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	児童館や地域の公園に行くなど、ボランティアの中高生に来てもらい交流を計った。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3				
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時等で、その日の状況を丁寧に伝えながら話をして状況や課題の共有に努めています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		ペアレント・トレーニングは行っていませんが、子育てに関する研修会を保護者対象に実施しています。保護者から日常生活上での相談があった場合は、助言や提案をおこなっています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に運営規定や利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えたり、確認して後日伝えている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談があれば時間をかけて話を聞き、適切な対応をしています。	相談しやすい環境づくりにも努めたいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	保護者同士が交流できる機会、おれんじカフェを年に3回実施等、保護者会と一緒に運営している。	保護者会については、周知はしているものの、活動のある時に参加ができないことがあるため、保護者会活動として目に見えず、分かりづらい事がある為、周知の方法や説明の仕方を工夫していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努め、苦情があった場合法人本部へ報告をしています。重要事項説明書に第三者窓口について記載しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		まちこみの活用、ホームページにて掲載。年に1回、子どもや保護者、スタッフの思いを綴った文集を制作している。(保護者会と共に)事業所内に活動や行事の様子を写真で記録し閲覧してもらえるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		守秘義務は就業規則等で定めています。大切に扱わせて頂いています。他機関との情報共有のため、同意書を頂いています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		意識して、不足している事はないか、情報伝達が正確にできているか等、職員間で連携を図り、迅速な対応が出来る体制づくりに努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	児童館にあそびに行ったり、体験を通して地域の中で活動する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルの整備は整えています。保護者にはいつでも閲覧できるように設置しています。	職員が訓練を重ねていくことで安全に避難できるよう努めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		月に1回避難訓練の実施を心掛けている。大津波・不審者・消防訓練等は隣接する保育所と合同で年に1回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		調理・食事時間等があるので保護者に確認するようにしている。医師の指示書に基づいての対応はできていますが、フェイスシートや保護者との連絡により、アレルギーの対応をしています。	体調の変化が見られる場面もあるため、把握しておく必要がある。聞き取りをしっかりとるようにする。放デイでは、調理・食事時間があるので、必要に応じて医師の指示を仰ぐようにする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に努めています。	環境の設定や職員の配置などについて改善点を確認し、同じ失敗のないように心がけている。虐待防止にもつながる場面の検証にもなるため、職員間で意識統一を図りたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		対象となる利用児はいない。	